



広 報
ひだ

町 木



第66号

肥 田 町

まちおこし推進協議会

H25.7.5発行

ご挨拶

肥田町まちづくり委員会

委員長 森田 喜久雄

この度、自治会のご推挙により、まちづくり委員長“の重責をお預かりすることとなりました。

このような重責は、肥田の町で生まれ育ち、歴史や伝統さらには町外在住者を含む肥田町の人間関係を熟知した有能な方に担っていただくのが本意であり、私のような未熟者にとつては誠に厳しい職責と受けとめています。

このような思いの中で、繰り返しのご要請によりお受けした次第ですが、前、郷づくり委員会“の皆様のご活躍を見ますと、向後の肥田の歴史において必ずや評価を受ける大きな足跡を残され、唯々頭の下がる思いでございます。改めて、関係各位に心より敬意と感謝を申し上げます。

今や、日本の農山漁村地域は、少子高齢化やグローバル化、情報技術の高度化など様々な社会変革の中で人々の価値観や社会環境が大きく変化し、人口の減少や高齢化から生じる様々な課題に直面しています。

こうしたことから、新たな“まちづくり委員会”では、これからの肥田町の方向性を見出すのも容易な状況ではなく、前委員会から託された思いを大切にしながら、未来を展望して微力ながら町づくりのお役にたてればと願っております。

新たに選ばれた“まちづくり委員”各位ともども、新委員会を取り決めました運営方針等をご報告申し上げ、町民の皆さんの格別のご理解とご協力をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

一、委員会は、少子化や高齢化、人口減少、個性化を踏まえたまちづくりを進めるため、次の事項を担任し、自治会活動を通じて実践する。

①自治会長から諮問を受けた事項に関する建議

②まちづくりの課題に対する対策の具申
③長期的な対応を要する事項に対する実施方法の企画検討

④自治会業務への可能な限りの参画と協力を
二、委員会は、自治会の傘下にあつて自治会を支援する立場に立ち、自治会との連携を確実なものとするため副自治会長が委員会に参画する。

三、委員は任期の定めを設けない。但し、就任後3年程度で辞任を申し出ることが出来るものとし、運営に支障なきときは承認する。自治会長経験者は、自治会顧問終了後、委員として参画する。

四、役割分担

委員長（総括）	森田喜久雄
副委員長（環境）	薩摩 四郎
委員（防災対策）	鶴野 俊雄
委員（交流対策）	大家 勝治
委員（文化対策）	薩摩 直弘
委員（福祉対策）	藤野喜代蔵
顧問（文化対策）	高瀬 俊英
顧問（広報対策）	藤野 泰弘
顧問（文化財）	山岸長兵衛
自治会連携	藤野 真理

写真で見る



活き活き

町

の

活

動



ファーム肥田の活動

4月10日

肥田町ハウスでの
稲苗育成管理風景



5月2日

全員が挙げての田植え作業が始まる。



群生箇所15か所あり



作業の風景

5月18日

福寿会の総会開催

講話は湖南三山国宝

長寿寺寺庭婦人
藤支照子さん

演題

「忘れそうな大切な心」

右手は父、左手は母、
命の台掌をする等のお
話に皆さん頷いて感動
の時間でした。



福寿会会長 伊関猪蔵さんと
長寿寺の藤支照子さん

6月9日

宇曾川堤防南側で草刈り作業上の
難所地帯の克服
自治会

数年前から笹竹、イバラ、雑木が群生している難しい地帯を、4月下旬に特に彦根市シルバー人材センターの熟達した方に、その伐採、除去の作業をお願いしました。

その後6月9日の自治会総出の除草作業の日に、皆さんの協力で当該地帯全部の作業も完了しました。ご苦労様でした。

こんぴらさん(金刀比羅神社)の 由来について

5月12日の肥田町小宮祭に高瀬俊英さんから肥田の氏神さんの一つ金刀比羅神社の由来について、子供会や参詣者の皆さんに解説をいただきました。

御祭神は大物主神です

大物主神(おおものぬしのかみ)がどなたかわからなかったら、天稚彦神社の宮司さんにお聞きしたら、建速須佐之男命(たてはやのすさのおのみこと)のことでした。須佐之男命(すさのおのみこと)は、あの有名な太陽神天照大神(あまてらすおみかみ)《女性》の弟さんです。

須佐之男命が高天原にいたときは、とても乱暴な方で、大通りであればいてる馬を組み伏せ、皮を剥ぎ取って、機織りをしてはお姉さんの目の前に持ち帰るしまつです。

頭にくた天照、天岩屋戸(あめのいわやど)の中にかくれて姿をくらまし、世の中は真っ暗になり、神々は困り果て、一計を思い立ちました。

太陽神を岩戸から出してもらうために、岩戸の前で、美人の天宇受売命(あめのうずめのみこと)が肌もあらわな格好で、鈴などをうち鳴らして踊りまくり、見ている神々が大声で喝采をおこつたので、岩戸の中の太陽神、何事かと、岩戸の扉をちよつと開けて外の様子を見たたん、力持ちの手力男命(たけぢかのおのみこと)がぐいと岩戸をひらけ、太陽神を外へ出てもらい、世の中はもとにかえりました。

お祭りにお湯が上がり、巫女(みこ)さんが神社の前で舞われるのはこの時の再現です。

大物主は悪い神様か

須佐之男命は高天原を追放になり、出雲の国に向かいますが、出雲の国で



2013/05/19

はヤマタノオロチ(大蛇)を退治したり、治水工事を成功させたり、アメノムラクモノツルギ(鉄生産)をものにしたります。いい神様になったようです。

「御神徳」・神様はお願いしたこと何でも聞き届けてくれます。だから「町内安全、稼業繁栄」の神様であるとも書かれています。

「こんぴらさん」は琴平から

金刀比羅宮は香川県(讃岐)の琴平に祀られております。肥田の金刀比羅神社はこの神様の分身です。昔はこの四国へは本土からは船でしか渡れませんでした。金刀比羅神社への参詣の乗合船を「こんぴらぶね(金毘羅船)」と称して古くから広くなじまれて来ましたが、この神様は何よりも航海安全を守る神様として崇められてきたのです。

肥田も昔は、宇曾川の水上交通で栄えた村でしたので、金刀比羅さんを村の鎮守神としてお祀りしてきたのです。

こんぴらさんの由来については、金刀比羅神社の境内の説明板にも詳しく書かれています。

高瀬 俊英

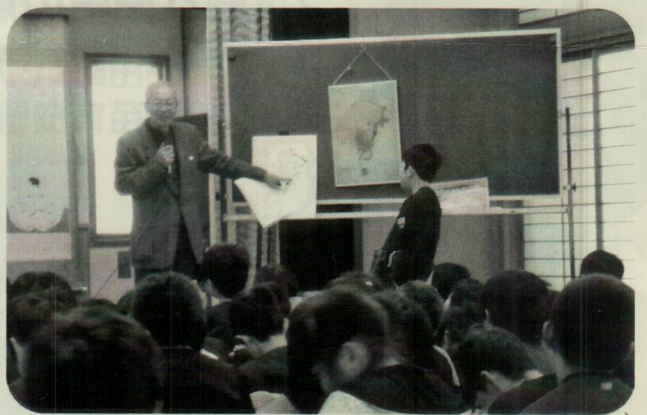
4月28日 肥田町ボランティアサークル和み会開催

ヨシ笛チームの公演と頭の健康体操で元気アップ、尚、また5月15日にはボランティアサークル全員で県道の通学路の泥上げ、除草美化作業を行っています。



5月7日 稲枝東小学校3年生80名が 肥田町で校外学習「校区たんけん」 後援 まちづくり委員会

- 肥田城のお話 ○昔の民家の暮らし見学—鹿島邸
- 伊関商会で農業機械の今昔の勉強をする
- 東小学校が出来る前の学校—肥田町愛親学校—於長楽寺にて



「ホタルを守ることは、 環境を守ることです」 ホタルが広く舞いました。

6年前から宇曾川の堤防下の小川で育てていたホタルが、水のきれいな場所、カワナナの多く住む所を求めて少し下流の地帯(肥田ハウスの北側)で、また、昨年来新しく試みた東町の裏川にと、この夏は20から30匹が美しく舞っていました。地についたと喜んでいます。

まちおこし推進協議会



6月2日 崇徳寺の庭に「滋賀いしずえの碑」建立 —除幕式典—

社会の進歩を願い、様々な分野で活動に参加し、亡くなられた人々389名の人を顕彰、追悼する碑です。その滋賀県内の方々の遺志を受け継ぎ、併せて遺族を励ますものとして建立されました。



2013/6

6月9日 自警団による 防火訓練実施



2013/6/9

